

# 令和3年度 事務事業評価シート（1）

## [ 令和2年度事務事業 ]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	バス運行事業（路線バス網再編等対策補助事業）			事業番号	017-020
担当部署名	建築都市	局	交通	部	公共交通担当 課

### I. 基本情報

#### 事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ~Resilient~	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築
		寄与するKPI	有	取組の方向性	⑤生活基盤としての公共交通の維持確保		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—		
		寄与するKPI	無	現状値	—	目標値	—
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(山)住み続けられるまちづくりを	ターゲット	11.2
		寄与するKPI	有	取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化		
			有・無	指標名	—		
			無	現状値	—	目標値	—
2	関連計画	—					
3	事業開始年度	平成 18 年度		点検年度	令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	堺市路線バス網再編等対策補助金交付要綱					

#### 事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	市民、路線バス利用者（令和2年度年間利用者数69,540人）					
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	利用者の減少等に伴いバス事業者から退出意向のあったバス路線のなかで、市民の日常生活に必要不可欠な路線について、市が運行経費の一部を補助することで維持確保を図る。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	補助要件に該当するバス路線について、赤字欠損額の一部を補助している（畑鉢ヶ峯線、美木多線）。					
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	—					
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—					
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	南海バス株式会社					
10	公民連携・協働事業	—					

### II. 事業目的の達成状況

#### 事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標	点検年度
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和7年度	
11 平日1日あたりの運行回数 (往復合わせ)	回	目標値	40	40	40		
		実績値	40	40			
		達成率	100%	100%			
当該指標を選定した理由	バス路線の維持を目的としているため、運行回数を成果指標とする。						
目標値の設定根拠・算出方法	現行の平日運行回数						
活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標		
			令和元年度	令和2年度	令和3年度		
12 補助対象区間の年間利用者数	人	目標値	84,107	77,895	69,540		
		実績値	77,895	69,540			
		達成率	93%	89%			
当該指標を選定した理由	バス利用者数が増加するほど、バス路線の維持に寄与するため。						
目標値の設定根拠・算出方法	コロナ禍によるバス利用者の減少を考慮し、前年度実績と同水準の利用者数。						

## 令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	バス運行事業（路線バス網再編等対策補助事業）	事業番号	017-020
-------	------------------------	------	---------

### Ⅲ. 投入量

事業コスト		(単位：千円)			
項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
	決算	決算	予算	決算	予算
13 事業費 (a)	13,143	14,779	15,371	13,966	15,865
13 財 源 内 訳	国支出金				
	府支出金				
	市債				
	その他 ( )				
	受益者負担金(使用料、手数料等)				
一般財源	13,143	14,779	15,371	13,966	15,865
14 人件費 (b)	3,280	3,240	2,460	2,460	2,460
15 年間経費(c)=(a)+(b)	16,423	18,019	17,831	16,426	18,325

事業費の内訳		(単位：千円)							
項目	年度	事業費	うち		項目	年度	事業費	うち	
			一般財源					一般財源	
16 事業 費 内 訳	路線バス網再編等対策補助金	R2 決算	13,966	13,966		R2 決算			
		R3 予算	15,865	15,865		R3 予算			
		R2 決算				R2 決算			
		R3 予算				R3 予算			
		R2 決算				R2 決算			
		R3 予算				R3 予算			
		R2 決算				R2 決算			
		R3 予算				R3 予算			

### Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費		区分	単位	令和元年度	令和2年度
17	①	補助対象区間の年間利用者数	人	77,895	69,540
	②	上記①にかかる年間経費	千円	18,019	16,426
	③	単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	231	236
備考 (算出についての説明等)					

### Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見	
18	市民の日常生活に必要不可欠な路線について、市が運行経費の一部を補助することで維持確保が図られた。令和2年度の事業内容における費用対効果は令和元年度とほぼ同等である。
<b>KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）</b>	
19	コロナ禍においても路線の運行回数を維持できたものの、働き方や人の行動変容など新しい生活スタイルにより、利用者は減少した。